

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

3/1  
令和3年(2021年)  
No.2297

新型コロナウイルスに関する  
最新情報はこちらで  
ご確認ください

区では、区ホームページやツイッター  
で、随時情報をお伝えしています。



新型コロナウイルス  
感染症情報  
(区ホームページ)



杉並区公式ツイッター  
(地震・水防情報等)  
@suginami\_tokyo



特集  
東日本大震災から10年  
南相馬市との歩み、そしてこれから

Contents — 主な記事 —

2-8 | 困難を乗り越え、新たな時代に繋ぐ予算 6 | 引っ越しの手続きはお近くの区民事務所をご利用ください 16 | 数値で見る令和3年度当初予算(案)

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <https://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課



お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、本紙掲載の催し等が中止になる場合があります。

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



### 3.11 その時

#### 震災発生

三陸沖を震源とし  
マグニチュード9.0の  
地震が発生

南相馬市では震度6弱を観測し、その後数回の津波に襲われ、多くの人や建物が流される甚大な被害を受けました。また、原子力発電所事故に伴い、南相馬市の3分の2が立ち入り制限区域となり、外部から支援が届かない「陸の孤島」となりました。



▲3.11震災直後の南相馬市

#### 区の被災地への支援

- 物的支援：南相馬市へ支援物資を搬送
- 避難者への支援：生活再建に向けた支援を開始するとともに、群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市に協力要請を行い、両自治体が当時直接協定を結んでいない南相馬市への支援の輪を構築

#### 現地で従事した職員の声

震災直後から現在まで、派遣要請や災害協定に基づき、区は、復興計画づくりや災害復旧工事など復興に向けた支援を行うため、職員派遣・人事交流を行ってきました。その現場に携わってきた職員2名の声をご紹介します。

##### 矢吹喜彦（南相馬市職員）

震災後、杉並区と防災相互援助協定を結んでいる東吾妻町に多くの南相馬市民が避難したため、その避難者の支援、避難所運営に携わりました。経験したことのない避難生活が続き、先が見えない中で、避難者と励まし合いながら懸命に生き抜いてきたという印象です。現在は杉並区へ派遣され、区の地域防災力の向上を目指す取り組みに従事していますが、自身の経験をしっかりと生かしていきたいと思っています。



##### 花岡高行（杉並区職員）

南相馬市へ2度派遣され、1度目の平成26年度からは被災地域の復興計画策定業務を行ってきました。当時は、まだ道路脇に車が突き刺さっているような状況でした。通算5年目を終えようとしている2度目の今は、観光復興業務を担当しています。市内は被災の跡が見えないほど復興が進みましたが、地域住民の皆さんがより笑顔になれるよう、日々業務に取り組んでいます。

### 南相馬市の10年の歩み

#### 震災から10年「南相馬市の歩み」

- 平成23年3月 ● 震度6弱を観測 津波到達
- 23年4月 ● 警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域を設定（緊急時避難準備区域は同年9月に解除）
- 24年4月 ● 警戒区域と計画的避難区域を、避難指示解除準備区域・居住制限区域・帰還困難区域に再編（帰還困難区域以外は28年7月に解除）
- 26年9月 ● 国道6号全線再開通
- 27年3月 ● 常磐自動車道全線開通
- 28年7月 ● 福島県南相馬原子力災害対策センター開所
- 令和 2年3月 ● JR常磐線全線再開通、福島ロボットテストフィールド開所



▲南相馬市

#### 今、そしてこれから

施設やインフラといったハード面は整備されてきたものの、市の人口は震災前の約74%、田んぼの作付けは約60%という現状です。南相馬市の皆さんやまち全体がより活気を取り戻せるように、今後も区は支援を継続していきます。

### 復興に向けて

#### 皆さんの支援が復興に生きています

区民の皆さんなどから、平成23年度～令和元年度にかけて合計約7億3500万円の義援金が寄せられました。義援金は「南相馬市みらい夢基金」として、南相馬市の事業に活用されています。

##### 杉並文庫整備

平成25年度～28年度に、杉並区ゆかりの作家や災害・復興関連の図書など累計約1万3500冊を購入し、小中学校や保育園・幼稚園などに設置しました。

##### 公立保育園・幼稚園園庭芝生化整備

保育園・幼稚園全8園の園庭延べ約6800㎡を人工芝にしました。子どもたちが園庭でのびのびと遊べるようになりました。



##### 南相馬市・杉並区スポーツ交流事業

例年、子どもたちの野球や駅伝、バレーボールの交流試合などに活用されています。平成24年度～令和元年度で延べ約1300人が参加し、友好の輪を広げました。



# 東日本大震災から10年 南相馬市との歩み、そしてこれから

平成23年3月11日午後2時46分。三陸沖を震源とした大地震が発生し、宮城県北部では震度7を観測しました。そして、大津波、原発事故、電力不足などが連鎖して発生し、今までに体験したことのない、広域かつ甚大な被害に見舞われました。区は、交流している福島県南相馬市へ直ちに連絡をとり、「何とかしなければ」という思いのもと、物資・人材の派遣などを行うとともに、他の交流自治体とも連携して支援する仕組みをつくりました。今号では、その南相馬市と復興に向けて歩んできた10年の取り組みをご紹介します。

## 2011 → 2021 Future

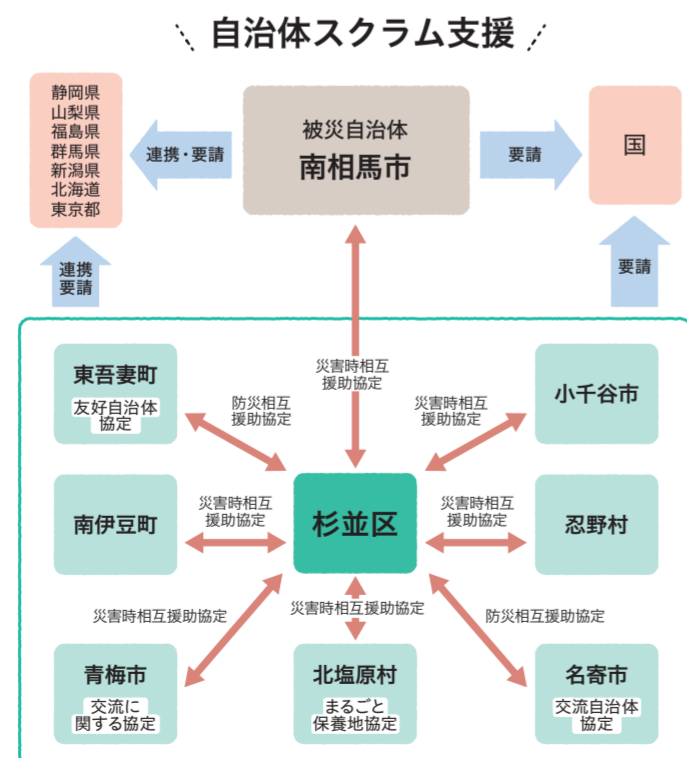
### 力を合わせて!

#### 自治体スクラム支援会議の発足

区は震災発生時、災害時相互援助協定（以下、協定）を締結している南相馬市に対し、直ちに救援物資の搬送を開始しました。また、同じく区と協定を締結している群馬県東吾妻町、新潟県小千谷市に避難者の受け入れを要請し、各自治体が連携、協力して支援する体制（水平的支援）を築きました。このような基礎自治体間の支援の仕組みづくりなどについて、区の関係自治体に呼び掛け「自治体スクラム支援会議」が発足しました。

●今後の取り組み～水平的支援の促進  
交流自治体が被災した場合に、被災を免れた自治体が窓口となって迅速な支援をするための仕組みづくりや基準の明確化を図り、各自治体の防災力向上を目指していきます。

●防災課、危機管理対策課



### 杉並区を災害に強いまちへ!

#### 防災対策の強化

- 帰宅困難者対策の推進 ●防災備蓄品の拡充
- 震災救援所マニュアルの改定、防災訓練の実施
- 杉並区地域防災計画の修正

#### 防災まちづくりの推進

- 耐震化の促進 ●不燃化の促進
- 狭あい道路の幅員整備

#### 区独自の地震被害シミュレーションの実施

首都直下地震を想定し、区の最新のデータを活用した50m×50mごとの詳細な被害想定を平成29年度に公表しました。結果は「地震被害想定AR」アプリや、すぎナビ・区ホームページ（右2次元コード）・リーフレット等でご覧になれます。

●防災課、市街地整備課



### 風化させない!

#### 東日本大震災から10年…「3.11を忘れない」開催!

区は、甚大な被害を受けた東日本大震災の記憶を風化させることなく語り継ぎ、首都直下地震に備え地域防災力の向上を図るために、「3.11を忘れない」を開催します。

●3月11日(日)午後2時20分～4時20分 ●西荻地区市民センター（桃井4-3-2） ●認定NPO法人桜ライン311・佐藤一男（右写真） ●80名（申込順） ●電話・ファクス・Eメールにイベント名・参加者全員の氏名・住所・電話番号、車いす利用の有無を書いて、3月8日までに危機管理対策課 ☎3312-3326 ☒KIKIKANRI-K@city.suginami.lg.jp ●手話通訳あり。車での来場不可 ●同課

#### 東日本大震災10年特別企画 石井麻木写真展「3.11からの手紙/音の声」

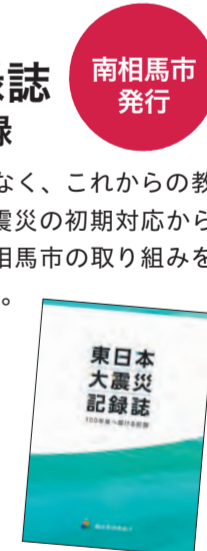
被災地に寄り添いながら、撮影し続けている写真家・石井麻木さんの写真展を開催します。 ●3月6日(土)～28日(日)午前11時～午後8時（21日のみ午後6時まで） ●旧杉並第四小学校（高円寺北2-14-13） ●南相馬市をはじめとした被災地の写真ほか約80点の展示 ●文化・交流課交流推進担当 ☎3312-9415

#### BOOK

#### 東日本大震災記録誌 ～100年後へ届ける記録

震災の記憶を風化させることなく、これからの教訓として次の世代に残すため、震災の初期対応からその後の対応について、主に南相馬市の取り組みをまとめた記録誌が刊行されました。

●全692ページ ●福島県南相馬市教育委員会文化財課文化財係 ☎0244-24-5284 ●販売価格等の詳細は、お問い合わせください。記録誌の内容は南相馬市ホームページに掲載予定



10年の記録 約80点を展示!

